

分布図情報



えどめいしょえ 「江戸名所絵」

刊年 1803 (享和3) 年頃 / 作者 鋤形紹真 (筆)

版元 野代柳湖 (刻) / 寸法 40×57cm / 木版手彩

大川（隅田川）東岸の亀戸天神の上空から西方の富士山の方向に向かって、江戸の町が一望のもとに描かれています。江戸が山の手の台地と下町の低い埋立地からなる坂と緑の多い町だったことがよくわかります。富士山が高く大きく描かれていますが、低地から台地を臨む眺望が考慮されていたため、町のあちこちから身近に眺めることができました。

大川に浮かぶ船、道や橋の上を歩く人々、芝居小屋など、数々の河川や濠に面した庶民の町（下町）の様子も詳しく描かれ、当時の活気が伝わってきます。

(岐阜県図書館蔵)

